

事業者排出量削減報告書

（宛先） 京都府知事		平成26年 7月 30日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）					
東京都千代田区飯田橋3-10-10		KDDI株式会社 代表取締役社長 田中孝司					
主たる業種	移動電気通信業				細分類番号	3   7   2   1	
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号				京都府地球温暖化対策条例施行規則		
計画期間	平成23年4月から平成26年3月まで						
基本方針	かけがえのない地球を次の世代に引継ぐことができるよう、地球環境保護を推進することがグローバル企業としての重要な責務であると捉え、環境に配慮した積極的な取組を会社全体で続けてゆきます。						
計画を推進するための体制	各本部・事業所・総支社・グループ会社・関連団体から選任された委員で構成される「KDDI CSR環境委員会」を中心に環境マネジメントシステムを構築し、グループ全体で効率的な環境保全活動を続けてゆきます。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	10,033.9 トン	10,192.8 トン	7,738.9 トン	7,111.2 トン	-16.8 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	10,033.9 トン	10,192.5 トン	7,738.8 トン	7,111.1 トン	-16.8 パーセント	
実績に対する自己評価		対前年度比で温室効果ガス▲627.7トンを実現したが、「京都ネットワークセンターの拠点統合による完全停止」が主な要因である。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	通信施設	事業活動に伴う排出の量 (契約数)	-2.53	-2.40	-1.68	-1.36	-28.33 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
実績に対する自己評価		対前年度比で▲0.32ポイントとなっているが、「京都ネットワークセンターの拠点統合による完全停止」による排出量減、及び契約数増が主な要因である。					
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		112.0 - パーセント	122.0 - パーセント	130.0 - パーセント	130.0 - パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	高効率設備（電源・空調）の導入 事務所における省エネ活動					
	(24)年度	高効率設備（電源・空調）の導入 事務所における省エネ活動、及び周波数再編に伴う通信機器利用見直し、拠点の統廃					
	(25)年度	高効率設備（電源・空調）の導入 事務所における省エネ活動、及び周波数再編に伴う通信機器利用見直し、拠点の統廃					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	自動車通勤規定の条件を満たし、会社の承認を受けた者とする (京都事務所は条件を満たさない為、原則自動車通勤禁止)					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	京都市地球温暖化対策条例の施行以前より、上記措置は実施している為、排出量への影響はない					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.3 トン	0.1 トン	0.1 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合 計	0.3 トン	0.1 トン	0.1 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	「+αプロジェクト」での取組みや、取扱説明書・梱包箱を回収する「取説リサイクル」の古紙の売上金を活用した活動等を通じて、お客様/社員とともに、全国の森林保全活動に取り組んでいる						
特記事項	天王山森林保全活動を毎年実施して（年2回）、公益社団法人 京都モデルフォレスト協会より、森林吸収量計算書を受領している						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。